

園の自己評価

社会福祉法人 花畑福祉会

令和7年度	花畑保育園	1	2	3	園長	理事長
		2	15	23		

評価日
令和8年 3月 30日

「目的」
今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の計画に活かすものとする。

「評価方法」
3月クラスリーダー会議に於いて、園の自己評価を実施する→園毎の成果と課題を明らかにし、管理者会議にて報告→園の全職員に自園及び全国の評価結果をフィードバックする→次年度の事業所計画に反映させる。

	3段階評価 1 (できていない) 2 (努力必要) 3 (できている)	評価・改善案	
経営について	1 地域に必要とされる保育園である。	1・2・3	・地球子育て支援拠点、シニア支援
	2 各管理者が責務を果たしており、法人組織・施設の組織体制が有効に機能している。	1・2・3	を取り入れている。
	3 法人理念・経営理念・保育園理念に沿った運営ができている。	1・2・3	・管理者が職員の指導を務めている。
	4 評価制度や目標達成シート、職員テーマを資質向上に活かしている。	1・2・3	・研修、朝礼等で再確認している。
	5 年度末に保護者運営アンケートを実施し、保護者へのフィードバックと共に、次年度の運営に反映させている。	1・2・3	・自己評価を実施している。
	6 職員の処遇や労働状況が整い、意欲を持って働ける職場になっている。	1・2・3	・保護者アンケート実施し、意見を取り入れたり、改善をかけていく。
	7 個人情報を適正に取り扱っている。	1・2・3	・職員面談を年2回実施する。
	8 能率的・合理的・明文化された組織になっている。	1・2・3	定時での退勤
	9 公文書の授受・発送・処理を取り扱い、保管や処理は慎重かつ適正に行っている。	1・2・3	・全職員が周知周知し、気を付けている。
	10 各種会計処理を適切に取り扱っている。	1・2・3	・厳重に保管している。
	11 職員は就業規則や保育の手引きなどの規則を遵守し業務にあたっている。	1・2・3	・ダブルチェックで確認している。
	12 各種会議は効率的・効果的に進めている。	1・2・3	・全職員で研修している。
	13 研修計画や研修制度を充実させ、その成果を日々の保育に活かしている。	1・2・3	・ラインワークスも活用
	14 職員相互が互いに高め合う関係を築いている。	1・2・3	・色々な研修を取り入れている。
	保育について	16 保育所保育方針を遵守した保育計画の立案、並びに保育がされている。	1・2・3
17 計画は子どもの実態、地域の状況、社会情勢などを踏まえた内容になっている。		1・2・3	・毎日、保育に取り入れている。
18 保育内容・保育方針・年齢ごとのねらい、保育テーマが全職員に共通理解され、展開されている。		1・2・3	・ホームページ、インスタを配信 保育の様子を動画配信している。

園の自己評価

社会福祉法人 花畑福祉会

保育について	19	子どもの人権を尊重した言葉かけや対応がなされ、子どもの最善の利益（子ども第一主義）で保育が行われている。	1・2・3	・園児への関わり言葉かけ等、研修を取り入れ、保育の振り返りしている。	
	20	子供の発達のプロセスや発達心理学を理解しているスタッフにより、適切な援助がなされている。	1・2・3	・発達の研修を取り入れて、職員もさらに学んでいる。	
	21	担当と子どもの間には信頼関係が成り立っている。	1・2・3	・経営簿、児童票にて記録	
	22	児童や家庭についての必要な記録は洩れなく記載している。	1・2・3	・安全点検を実施している。	
	23	保健的な環境の中で保育がされている。	1・2・3	・毎月、真剣に取り組み確認している。	
	24	保健・安全に関する指導や訓練を通して、よい習慣が身についている。	1・2・3	・子どもたちのやりたい事を十分に	
	25	子どもにとってよりよい環境を常に作り出している。	1・2・3	できる環境・保育士の関わりを大切にしている。	
	26	日々の振り返りを基に保育（業務）の改善に努めている。	1・2・3	・未満児でも季節に合わせて実施。	
	27	行事を通して何を育てようとしているかを明確にし、子どもの主体性を助長する援助ができている。	1・2・3	親子参加にしている。	
保護者について	28	異年齢の触れ合いの大切さを理解し、関わり場を意識的に取り入れている。	1・2・3	・ワンフロアで交流が多く、良い刺激になっている。	
	29	幼児は、施設間交流や小学校との連携の機会を設け、成長を促している。	1・2・3	・連携施設との交流をする。	
	環境	30	保護者への説明は丁寧に行い、不安や不信感を生じさせていない。	1・2・3	未満児でもできる事検討
		31	保護者との意思疎通が良好で、子どもの発達に関する共通理解や育児指導、家庭支援を行えている。	1・2・3	・話しやすい雰囲気作りや細かい説明をするようにしている。
		32	保護者を対象にした子育ての啓発の機会を設けている。	1・2・3	・信頼関係を築くように努力している。
地域との連携	33	園内外の点検を定期的に行い、園内外を美しく保ち、衛生的、整頓、情緒的な保育環境を作れている。	1・2・3	・家庭教育講演会を実施し子育てのアンケートも実施。	
	34	不審者対応に常に周到な配慮をしている。	1・2・3	・さらに努力する。	
	35	保育園の様子や、園が行っている保育事業などを地域に情報発信できている。	1・2・3	・施設、防犯カメラ対策・研修実施	
	36	小学校・医療機関・専門機関・公共機関・幼稚園などとの交流や情報を共有している。	1・2・3	・ホームページ、インスタを配信 保育園の様子をビデオ配信	
保育について	37	地域の人材活用、地域の行事などに積極的に参加し、文化や生活に触れている。	1・2・3	・拠点会議でも情報交換している。	
	38	保育園を地域の資源として開放し、人々が気軽に訪れる場所になっている。	1・2・3	・食生活改善推進員となったが、あまり活動出来ていない。	
	39	第三者評価を導入し、施設運営に反映している。	1・2・3	・地域子育て拠点【花畑ひろば】の園庭開放・お弁当パンの販売	
	40	地域や保護者のご意見を施設運営に反映している。	1・2・3	・今後実施の予定 ・行事、アンケート等実施	